

# INFORMATION



第23回内藤コンファレンス

「幹細胞の維持と分化の分子基盤[III]」開催案内

開催日時： 2008年11月11日（火）～ 11月14日（金）

開催場所： 湘南国際村センター

組織委員： 岡野 栄之先生：慶應義塾大学 医学部 教授  
(委員長)  
浅島 誠先生：東京大学 理事(副学長)  
東京大学大学院 総合文化研究科 客員教授  
阿形 清和先生：京都大学大学院 理学研究科 教授  
西川 伸一先生：理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター  
副センター長・グループディレクター  
赤司 浩一先生：九州大学大学院 医学研究院 教授

セッション：

セッションA： ES and Pluripotent Stem Cells  
セッションB： Epigenetic Regulation and Reprogramming  
セッションC： Somatic Stem Cells  
セッションD： Organogenesis and Tissue Engineering  
セッションE： Clinical Aspects of Stem Cells

[ 招待講演者 ]

**セッション A : ES and Pluripotent Stem Cells**

- 阿形 清和 (京都大学大学院 理学研究科 教授)  
“Maintenance and Regulation of Planarian Pluripotent Stem Cells”
- Austin Smith (University of Cambridge, UK)  
“Capturing Pluripotency”
- Ludovic Vallier (University of Cambridge, UK)  
“Molecular Mechanisms Controlling Pluripotency in Human Embryonic Stem Cells and in Mouse Epiblast Stem Cells”
- Edouard G. Stanley (Monash University, Australia)  
“Analysis of Lineage Commitment during Early Human Development Using Genetically Tagged HESC Lines”
- 仲野 徹 (大阪大学大学院 生命機能研究科 教授)  
“Regulation of DNA Methylation in Early Embryogenesis”

**セッション B : Epigenetic Regulation and Reprogramming**

- Azim Surani (Wellcome Trust/Cancer Research UK, UK)  
“Epigenetic Reprogramming in the Early Germ Cell Lineage”
- 山中 伸弥 (京都大学 再生医科学研究所 教授)  
“Induction of Pluripotency by Defined Factors”
- Rudolf Jaenisch (Whitehead Institute for Biomedical Research, USA)  
“Stem Cells, Pluripotency and Nuclear Reprogramming”
- Kevin Eggan (Harvard Medical School, USA)  
“Reprogramming Factors of Oocyte ” (tentative)
- 中島 欽一 (奈良先端科学技術大学院大学 ハイサイエンス研究科 教授)  
“Epigenetic Mechanisms Regulating Neural Cell Differentiation and Plasticity”

**セッション C : Somatic Stem Cells**

- 西川 伸一 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター  
副センター長・グループディレクター)  
”Niche Required for Inducing Quiescent Stem Cell”
- 須田 年生 (慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学講座 教授)  
“Quiescent Stem Cells Regulated by Niche Cells”
- Michael A. Rudnicki (Ottawa Health Research Institute, Canada)  
“Pax7 and the Molecular Control of Myogenic Stem Cell Function”
- 松崎 有未 (慶應義塾大学医学部 生理学教室 特別研究准教授)  
”Mesenchymal Stem Cells” (tentative)
- Magdalena Götz (German Research Center for Environmental and Health(GmbH), Germany)  
“Glial Cells Generate Neurons---New Views on Reactive Gliosis”

## セッション D : Organogenesis and Tissue Engineering

- Philip Beachy (Stanford University, USA)  
“Hedge Hog Signaling and Stem Cells” (tentative)
- 浅島 誠 (東京大学大学院 総合文化研究科 客員教授)  
“In vitro Organogenesis in Vertebrate Development”
- Naoki Nakayama (Monash University, Australia)  
“Controlled Differentiation of Embryonic Stem Cells to  
Different Osteochondrogenic Cell-types by Activin, BMP  
and Wnt Signaling”
- Kevin Egan (Harvard Medical School, USA)  
“Pancreas Formation from ES Cells” (tentative)
- 赤司 浩一 (九州大学大学院 医学研究院 教授)  
“Stem cells in hematological malignancies”

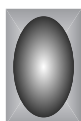
## セッション E : Clinical Aspects of Stem Cells

- 福田 恵一 (慶應義塾大学医学部 再生医学教室 教授)  
“Regeneration of Cardiomyocytes for Heart Tissue Engineering”
- Giulio Cossu (Stem Cell Research Institute, San Raffaele Del Monte  
Tabor Foundation, Italy)  
“Mesoangioblasts for the Cell Therapy of Muscular Dystrophy”
- Nobuko Uchida (StemCells Inc., USA)  
“Therapeutic Potential of Human Neural Stem Cells”
- Hans S. Keirstead (University of California Irvine, USA)  
“Pre-clinical Development of hESC-based Treatments for Spinal  
Cord Injury”
- 岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部 生理学教室 教授)  
“Strategies for Regeneration of the Damaged CNS”

当コンファレンスに参加を希望される方には、必ずポスター発表を行っていただきます。演題応募開始は4月中旬頃を予定しておりますが、[財団ホームページ \(http://www.naito-f.or.jp\)](http://www.naito-f.or.jp) にアクセスし、必要事項をご記入のうえお申込みください。組織委員会にて約60件を採択いたします。

また、ポスター応募者の中から、ショートトーク①、②のテーマとして採択された演題については、15分程度の口頭発表をしていただきます。

特に“Cancer Stem Cell”を含むテーマに関する演題を募集いたしますので、奮ってご応募ください。



## 2008年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者の募集

申請書類は、地球化学研究協会のホームページからダウンロードして下さい。

### 1. 三宅賞

対象：地球化学に顕著な業績を修めた研究者  
表彰内容：賞状、副賞として賞牌および賞金30万円、毎年1件（1名）

### 2. 奨励賞

対象：推薦締切日に35才以下で、地球化学の進歩に優れた業績を挙げ、将来の発展が期待される研究者

表彰内容：賞状および賞金10万円、毎年1件（1名）

3. 応募方法：地球化学研究協会のホームページからダウンロードした申請書に、略歴・推薦理由・研究業績などを記入し、主な論文10編程度(三宅賞)、

2編程度(奨励賞)を添えて、下記のあて先へ送付して下さい。

応募書類等は、三宅賞及び奨励賞選考のためのみ選考委員会などで用いられます。

4. 締切日：2008年8月31日

5. 地球化学研究協会ホームページ：  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/gra/>

6. 応募先：

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5  
三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部  
公益信託グループ  
(公益信託)地球化学研究基金 江川康治

7. 問合せ：地球化学研究協会事務担当まで、電子メールでお願いします。

E-mail：t-sagi@m3.gyao.ne.jp



## 大阪大学大学院生命機能研究科 入試説明会

日程：2008年5月10日(土)

【入試説明会】10：00～12：30

【研究室訪問】13：30～

会場：大阪大学コンベンションセンター3階  
MOホール  
(〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1)

本研究科では、医学部、歯学部、基礎工学部、工学部、理学部、薬学部、農学部など、多様な学部出身者で、医学・生命科学系と理工学系との学際的な融合による、新たな学問分野を開拓しようという意欲を持った学生を受け入れます。幅広い分野からの人材を受け入れるために、以下の要領で入試説明会を実施します。奮ってご参加下さい。

【入試説明会】10：00～12：30

生命機能研究科入試説明  
研究科カリキュラム紹介  
生命機能研究科教員紹介

【研究室訪問】13：30～

研究室訪問(各自訪問を希望する研究室へ移動)

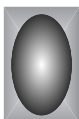
申込み・参加費：不要

連絡先：大阪大学大学院生命機能研究科

TEL/06-6879-4421

E-mail/info@fbs.osaka-u.ac.jp

詳細：<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/>



## 東京大学大学院医学系研究科機能生物学専攻 博士課程・修士課程入試説明会

研究に熱意のある人を広く求めます。参加に当たって前もっての連絡は不要です。

参加者の出身学部は問いません。

日 時：平成 20 年 5 月 31 日(土)14：00～15：30  
(説明会後各研究室を見学できます)

場 所：東京大学医学部 1 号館 1 階講堂

### 研究分野及び教室主任

・統合生理学・認知科学：宮下保司  
([physiol@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:physiol@m.u-tokyo.ac.jp))

認知と記憶の脳メカニズム

<http://www.physiol.m.u-tokyo.ac.jp/>

・細胞分子生理学：森 憲作  
([moriken@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:moriken@m.u-tokyo.ac.jp))

嗅覚と情動の脳神経メカニズム

<http://morilab.m.u-tokyo.ac.jp/>

・神経生理学：狩野 方伸  
([mkano-ky@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:mkano-ky@m.u-tokyo.ac.jp))

中枢シナプスの機能発達と可塑性

<http://plaza.umin.ac.jp/~neurophy/>

・細胞分子薬理学：飯野正光  
([iino@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:iino@m.u-tokyo.ac.jp))

カルシウム関連シグナルと細胞機能

<http://calcium.cmp.m.u-tokyo.ac.jp/>

・分子神経生物学：三品昌美  
([mishina@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:mishina@m.u-tokyo.ac.jp))

記憶・学習とシナプス形成の分子機構

<http://www.pharmacol2.m.u-tokyo.ac.jp/>

・構造生理学：河西春郎  
([hkasai@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:hkasai@m.u-tokyo.ac.jp))

大脳シナプスの 2 光子顕微鏡による研究

<http://www.bm2.m.u-tokyo.ac.jp/>

問合せ先：東京大学大学院医学系研究科機能生物学  
専攻 神経生理学教室

狩野 方伸

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

FAX：03-5802-3315



## 千葉大学助教の募集

千葉大学大学院医学研究院自律機能生理学では助教を募集いたします。当研究室ではエネルギー代謝・糖代謝についての個体、細胞、分子レベルでの解析，ならびに興奮性細胞の細胞機能制御機構の解明をめざした研究室の立ち上げを目指しております。

[募集人数] 1 名

[募集期間] 締切：平成 20 年 5 月末日 (ただし採用者決定次第，締め切ります)

[募集資格]

- ①大学院博士課程修了者で，博士の学位を取得しているもの
- ②採用時の年齢が 32 歳以下(医学・歯学部卒業者は 37 歳以下) であること。
- ③当研究室の研究テーマに興味を持っていること。

④分子生物学的手法を用いた研究経験があること。

式は任意).

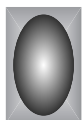
[雇用期間] 任期5年、再任1回のみ可能。

[提出書類]

1. 履歴書（書式は任意）
2. 研究業績目録（書式は任意）
3. これまでの研究の経緯、自ら遂行可能な研究手技、研究に対する今後の抱負について計A4判用紙2枚までで記載してください（書

[送付先および問い合わせ先]

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院医学研究院自律機能生理学  
三木隆司宛  
電話：043-226-2029  
ファックス：043-226-2034  
E-mail：tmiki@faculty.chiba-u.jp



## JST より研究課題の募集（CREST、さきがけ）のお知らせ

戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ）  
平成20年度研究提案の募集開始（第2期）

このたび、JSTの戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ）において、3月18日より平成20年度第2期の研究提案募集を開始致しました。

後述の研究領域における、独創的な研究提案のご応募をお待ちしております。

詳細は募集専用ホームページを是非ご覧下さい。

<http://www.jst.go.jp/kisoken/teian.html>

### ■応募締切

CREST：平成20年5月15日（木）正午 厳守

さきがけ：平成20年5月13日（火）正午 厳守

※余裕を持って、お早めの提出を頂くようお願い致します。

なお、第1期の研究提案募集（iPS細胞研究）は3月4日で終了しております。

### ■研究提案を募集するCREST研究領域（第2期） （平成20年度発足研究領域）

◇「先端光源を駆使した光科学・光技術の融合展開」

・研究総括：伊藤 正（大阪大学大学院基礎工学研究科 教授）

◇「プロセスインテグレーションによる機能発現ナノシステムの創製」

・研究総括：曾根純一（日本電気（株）中央研究所 支配人）

◇「プロセスインテグレーションに向けた高機能ナノ構造体の創出」

・研究総括：入江正浩（立教大学理学部化学科教授）

◇「二酸化炭素排出抑制に資する革新的技術の創出」

・研究総括：安井 至（国際連合大学 名誉副学長、（独）科学技術振興機構研究開発戦略センター シニアフェロー）

◇「アレルギー疾患・自己免疫疾患などの発症機構と治療技術」

・研究総括：菅村和夫（東北大学大学院医学系研究科 教授）

（平成19年度発足研究領域）

◇「精神・神経疾患の分子病態理解に基づく診断・治療へ向けた新技術の創出」

・研究総括：樋口輝彦（国立精神・神経センター 総長）

◇「ディペンダブルVLSIシステムの基盤技術」

・研究総括：浅井彰二郎（（株）リガク 取締役副社長）

◇「次世代エレクトロニクスデバイスの創出に資する革新材料・プロセス研究」

・研究総括：渡辺久恒（（株）半導体先端テクノロジーズ 代表取締役社長）

◇「数学と諸分野の協働によるブレークスルーの探索」

- ・研究総括：西浦廉政（北海道大学電子科学研究所 教授）

注) この研究領域では、平成20年度よりCRESTとさきがけの両方の研究提案を募集します。

注) この研究領域では募集説明会を開催します。  
(平成18年度発足研究領域)

◇「実用化を目指した組込みシステム用ディベンドブル・オペレーティングシステム」

- ・研究総括：所眞理雄（ソニー（株）業務執行役員 SVP, (株) ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長）
- ・副研究総括：村岡洋一（早稲田大学理工学術院 教授）

注) この研究領域ではコンセプト説明会を開催します。

◇「ナノ界面技術の基盤構築」

- ・研究総括：新海征治（九州大学大学院工学研究院 教授）

◇「ナノ科学を基盤とした革新的製造技術の創成」

- ・研究総括：堀池靖浩（(独) 物質・材料研究機構 フェロー）

注)「生命システムの動作原理と基盤技術」のCRESTでは平成19年度で募集を終了しましたので、平成20年度はさきがけのみの募集になります。

■研究提案を募集するさきがけ研究領域(第2期)  
(平成20年度発足研究領域)

◇「光の利用と物質材料・生命機能」

- ・研究総括：増原 宏（奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 客員教授）

◇「ナノシステムと機能創発」

- ・研究総括：横山 浩（(独) 産業技術総合研究所ナノテクノロジー研究部門 研究部門長）

◇「脳情報の解釈と制御」

- ・研究総括：川人光男（(株) 国際電気通信基礎技術研究所(ATR)脳情報研究所 所長/ATR フェロー）

◇「知の創生と情報社会」

- ・研究総括：中島秀之（公立はこだて未来大学 学長）

(平成19年度発足研究領域)

◇「革新的次世代デバイスを目指す材料とプロセス」

- ・研究総括：佐藤勝昭（東京農工大学大学院工学府 特任教授）

◇「数学と諸分野の協働によるブレークスルーの探索」

- ・研究総括：西浦廉政（北海道大学電子科学研究所 教授）

注) この研究領域では、CRESTとさきがけの両方の研究提案を募集します。

注) この研究領域では募集説明会を開催します。

◇「生命現象の革新モデルと展開」

- ・研究総括：重定南奈子（同志社大学文化情報学部 教授）

(平成18年度発足研究領域)

◇「生命システムの動作原理と基盤技術」

- ・研究総括：中西重忠（(財) 大阪バイオサイエンス研究所 所長）

注) 平成20年度はさきがけのみ研究提案を募集します。CRESTの募集は平成19年度で終了となっております。

◇「RNAと生体機能」

- ・研究総括：野本明男（東京大学大学院医学系研究科 教授）

◇「界面の構造と制御」

- ・研究総括：川合眞紀（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授, (独) 理化学研究所川合表面化学研究室 主任研究員）

◇「ナノ製造技術の探索と展開」

- ・研究総括：横山直樹（(株) 富士通研究所フェロー・ナノテクノロジー研究センター長）

◇「物質と光作用」

- ・研究総括：筒井哲夫（九州大学先導物質化学研究所 教授）

●下記の募集案内ホームページ（随時更新）を併せてご覧ください！

<http://www.jst.go.jp/kisoken/teian.html>

(↑から募集要項のダウンロードが可能です。)  
評価等のスケジュールは適宜、募集案内ホームページでお知らせします。

●今回の募集は「府省共通研究開発管理システム (e-Rad)」で行います。

e-Radの詳細については以下をご覧ください。  
提案者は研究者情報を2週間以上の余裕をもって登録ください。

<http://www.e-rad.go.jp/>

(↑から提案様式のダウンロードが可能です。)  
・e-Radによる研究提案書のアップロードは締切の数日前に余裕をもって行ってください。

(※締切間際はシステムが混雑し、たいへんに時間がかかる場合があります)

●なお、諸般の事情により募集期間を若干変更する可能性がありますことを予めご了承ください。

■問い合わせ先：

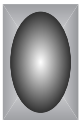
独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)

研究領域総合運営部・研究推進部

(募集専用) E-mail : [rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)

(募集専用) TEL 03-3512-3530

※締切前には窓口がたいへん混雑しますので、余裕を持ってお早めにお問い合わせ下さい。



## “JST シンポジウム CREST12—科学技術イノベーションを目指す CREST の挑戦—” 開催のお知らせ

JSTの戦略的創造研究推進事業 CREST の発足12周年を記念して JST シンポジウム「CREST 12—科学技術イノベーションを目指す CREST の挑戦—」を開催します。

CREST の発足以来12年間、様々な研究分野において700名を超える研究代表者を採択し、研究を推進して参りました。この間に得られた代表的な研究成果について、講演、実演展示などを通じ、わかりやすくご紹介いたします。また、パネルディスカッションでは、CRESTを含む日本の研究支援制度について考えます。

講演・展示概要や参加申込などホームページに

順次掲載しますので、ご参照の上、ふるってご参加ください！

○日時：2008年5月27日(火)10:00—17:30

○会場：東京国際フォーラム B7ホール

○定員：600名(先着順：定員になり次第締め切りさせていただきます)

○参加費：無料

シンポジウムホームページ：

<http://www.the-convention.co.jp/crest12/>

CREST 事業紹介ホームページ：

<http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/>



2008年 生理学研究所

第19回 生理科学実験技術トレーニングコース

“生体機能の解明に向けて” —分子・細胞からシステムレベルまで—

日時：2008年7月28日(月)～8月1日(金)

場所：自然科学研究機構 生理学研究所

募集人員：約150名

受講料：10,500円(予定)

参加対象：学部学生、大学院生(修士、博士)、若

手研究者(Postdoctoral fellow含む)

連絡先：重本隆一(しげもと りゅういち)

生理学研究所 脳形態解析研究部門

〒444-8787

愛知県岡崎市明大寺町字東山5—1

TEL : 0564-59-5278

E-Mail : training@nips.ac.jp

ホームページ :

http://www.nips.ac.jp/training/2008

申込方法 : ホームページ上でのオンライン登録

申込期日 : 2008年5月1日(木) ~ 6月9日(月)

講演 : 7月28日(月)

AMPA型グルタミン酸受容体の制御機構

深田正紀 (生理学研究所 生体膜研究部門)

実習 : 7月28日(月) ~ 8月1日(金)

テーマ・担当者

位相差電子顕微鏡の原理と実践

Radostin Danev

神経幹細胞の培養法 等 誠司

海馬神経初代培養と生細胞イメージング

深田正紀

遺伝子改変マウス作製の基礎から応用へ

富田江一

in vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容

体の機能解析

久保義弘

2光子顕微鏡による細胞の動態と機能の可視化  
解析法—その基礎と応用 鍋倉淳一

パッチクランプ法

久木田文夫・鍋倉淳一・富永真琴

スライスパッチクランプ法 (基礎コース・応用  
コース) 佐竹伸一郎・初山俊彦

ゼブラフィッシュを用いた神経回路機能の解析

東島眞一

摂食・飲水行動発現機構入門 志内哲也

麻酔下動物での急性電気生理実験 伊佐 正

慢性動物実験法入門 南部 篤

視知覚の脳内メカニズムの実験的解析

伊藤 南

脳磁図によるヒト脳機能研究の基礎

柿木隆介・金桶吉起

脳機能画像解析入門 齋藤大輔

生理学実験のための電気回路・機械工作・プロ

グラミング 大庭明生

## <訂正とお詫び>

日生誌70巻3号に誤りがありました。

### Abstracts

第54回中部日本生理学会・第100回近畿生理学談話会合同大会抄録

誤 「P-14. 細胞内  $A\beta$  は、大脳皮質錐体細胞においてBKチャンネルを抑制し  $Ca^{2+}$  流入を促進する  
山本兼司<sup>1,2</sup>, 植田禎史<sup>2</sup>, 山本 亮<sup>2</sup>, 加藤伸郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 国立病院機構宇多野病院神経内科, <sup>2</sup> 金沢医科大学  
大学生理機能制御学)」

正 「14. 細胞内  $A\beta$  は、大脳皮質錐体細胞においてBKチャンネルを抑制し  $Ca^{2+}$  流入を促進する」

誤 「14. 延髄孤束核への Adrenomedullin 2 微量注入は循環調節に作用する

崔 鶴, 和気秀文, 向阪 彰, 中村 健, 湯川和典, 畑田充俊, 山崎寿也, Mohammad Eliusur  
Rahman Bhuiyan, 幸田 剣, 高岸美和, 前田正信 (和歌山県立医科大学医第二生理)

正 「P-14. 延髄孤束核への Adrenomedullin 2 微量注入は循環調節に作用する」

山本兼司先生, 崔 鶴先生をはじめ, 演者の先生方, 第54回中部日本生理学会・第100回近畿生理学  
学談話会合同大会関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

日本生理学会編集委員会